

第四次国有林野施業実施計画書

(上川北部森林計画区)

計画期間 (自 平成25年 4月 1日
至 平成30年 3月31日)

策 定 年 月 日 : 平成25年3月28日

北海道森林管理局

目 次

1	国有林野の区画の名称及び区域並びに機能類型及びエリア別の区域	1
2	施業群の名称並びに区域、伐期齢又は回帰年、上限伐採面積、伐採箇所ごとの 伐採方法及び伐採量並びに更新箇所ごとの更新方法及び更新量	
	(1) 伐採造林計画簿	1
	(2) 水源涵養タイプにおける施業群別面積等	1
	(3) 水源涵養タイプの施業群別の上限伐採面積	2
	(4) 伐採総量	2
	(5) 更新総量	4
	(6) 保育総量	4
3	林道の整備に関する事項	5
4	治山に関する事項	7
5	保護林及び緑の回廊の名称及び区域	
	(1) 保護林の名称及び区域	8
	(2) 緑の回廊の名称及び区域	8
6	レクリエーションの森の名称及び区域	9
7	公益的機能維持増進協定の名称及び区域	11
8	その他必要な事項	
	(1) 施業指標林、試験地等	12
	(2) フィールドの提供	13
	(3) 森林共同施業団地	14

別表 保護林及びレクリエーションの森等の箇所別一覧表

保護林

レクリエーションの森

レクリエーションの森以外の森林空間利用タイプ

- 1 国有林野の区画の名称及び区域並びに機能類型及びエリア別の区域
国有林野施業実施計画図（別添1）による。
- 2 施業群の名称並びに区域、伐期齢又は回帰年、上限伐採面積、伐採箇所ごとの伐採方法及び伐採量並びに更新箇所ごとの更新方法及び更新量
 - (1) 伐採造林計画簿
伐採・更新箇所ごとの伐採・更新面積及び方法等については、伐採造林計画簿（別添2）による。
 - (2) 水源涵養タイプにおける施業群別面積等

(単位：ha)

区分	面積	取扱いの内容	伐期齢又は回帰年	
			樹種	
単層林施業群	1,257	人為を積極的に加えることにより、単層状態の森林を造成・維持する。 【施業方法：育成単層林へ導くための施業】	トドマツ	65年
			アカエゾマツ・エゾマツ	80年
			カラマツ・グイマツ	50年
			その他針葉樹	60年
長期単層林施業群	-	人為を積極的に加えることにより、伐期の長期化を図り、単層状態の森林を造成・維持する。 【施業方法：育成単層林へ導くための施業】	トドマツ	100年
			アカエゾマツ・エゾマツ	120年
			カラマツ・グイマツ	80年
			その他針葉樹	90年
複層林施業群	868	人為を積極的に加えることにより、複数の樹冠層を有する森林を造成し、将来にわたり非皆伐状態を維持する。 【施業方法：育成単層林へ導くための施業】	トドマツ	伐採始期 60年 伐採終期 100年
			アカエゾマツ・エゾマツ	伐採始期 70年 伐採終期 120年
			カラマツ・グイマツ	伐採始期 40年 伐採終期 80年
			その他針葉樹	伐採始期 50年 伐採終期 90年
混交林施業群	23,273	必要により人為を加えることにより、広葉樹等の導入・育成を図り、針広混交林を造成・維持する。 【施業方法：育成複層林へ導くための施業】	30年	
育成天然林施業群	57,907	必要により人為を加えることにより、多様な樹種による複数の樹冠層を有する森林を造成・維持する。 【施業方法：育成複層林へ導くための施業】		
天然生林施業群	15,017	天然力を活用することにより、森林を造成・維持する。 【施業方法：天然生林へ導くための施業】		
合計	98,322			

注) 林地面積の集計である。
計は四捨五入の為、必ずしも一致しない。(以下の表についても同じ)

(3) 水源涵養タイプの施業群別の上限伐採面積

(単位：h a)

施業群	単層林	長期単層林	複層林	混交林	育成天然林	天然生林
上限伐採面積	89	-	148	3,879	9,651	2,503

(4) 伐採総量

(単位：m³、h a)

区 分	林 地					林地 以外	合 計
	主 伐	間 伐	小 計	臨時伐採量	計		
山地災害防止タイプ	3,273	(1,250) 60,829	64,102				
自然維持タイプ	-	-	-				
森林空間利用タイプ	-	-	-				
快適環境形成タイプ	-	-	-				
水源涵養タイプ	単層林	(192) 7,979	7,793	15,772			
	長期単層林	-	-	-			
	複層林	(5) 11,993	387	12,380			
	混交林	(2,074) -	105,942	105,942			
	育成天然林	-	-	-			
	天然生林	-	-	-			
	計	19,972	(2,271) 114,122	134,094			
合 計	23,245	(3,521) 174,951	198,196	20,000	218,196	-	218,196
年 平 均	4,649	(704) 34,990	39,639	4,000	43,639	-	43,639

注) 上段 () は、間伐面積である。

(再掲) 市町村別内訳

(単位: m³、ha)

市町村名	林 地					林 地 以 外	合 計
	主 伐	間 伐	小 計	臨時伐採量	計		
士 別 市	2,347	(1,419) 69,261	71,608				
名 寄 市	-	(146) 4,717	4,717				
和 寒 町	7,979	(230) 17,720	25,699				
下 川 町	9,890	(1,272) 56,770	66,660				
中 川 町	3,029	(453) 26,483	29,512				
合 計	23,245	(3,521) 174,951	198,196				

注1) 市町村別内訳には、臨時伐採量及び林地以外の土地に係る伐採量は含まれていない。

注2) 上段()の数値は間伐面積(ha)を表し、合計は四捨五入の為、必ずしも一致しない。

(5) 更新総量

(単位：h a)

区 分		山地災害 防止タイプ	自然維持 タイプ	森林空間 利用タイプ	快適環境 形成タイプ	水源涵養 タイプ	合 計
人工 造林	単層林造成	-	-	-	-	169	169
	複層林造成	28	-	-	-	86	114
	計	28	-	-	-	256	284
天然 更新	天然下種第1類	-	-	-	-	-	-
	天然下種第2類	-	-	-	-	-	-
	ぼう芽更新	-	-	-	-	-	-
	計	-	-	-	-	-	-
合 計		28	-	-	-	256	284

(6) 保育総量

(単位：h a)

区 分		山地災害 防止タイプ	自然維持 タイプ	森林空間 利用タイプ	快適環境 形成タイプ	水源涵養 タイプ	合 計
保 育	下 刈	2,667	32	34	-	11,479	14,212
	つる切り	58	4	-	-	194	256
	除 伐	359	24	-	-	1,190	1,573

3 林道の整備に関する事項

基幹・ その他別	開設・ 改良	路線名	箇所(林班)	延長(m)	箇所数 (改良)	備考
基幹	開設	からまつ	1138	600		名寄市
		中川第一造林	1076, 1078, 1081	4,000		中川町
		1076・1078	1076, 1078	4,100		中川町
	計	3路線		8,700		
その他	開設	2362林班	2362	1,400	和寒町	
		菊野	2360, 2361	2,700	和寒町	
		南丘	2354	1,500	和寒町	
		維文	2366	1,500	和寒町	
		西内大部右岸	2311, 2312	3,000	士別市	
		東内大部	2318, 2319, 2320, 2322	2,800	士別市	
		11線沢	2309	1,500	士別市	
		下大英	2324, 2325	2,000	士別市	
		2209林班	2205, 2206, 2207, 2208, 2209	6,700	士別市	
		2004林班	2004	1,300	士別市	
		2003林班	2003	1,000	士別市	
		2006林班	2006	2,900	士別市	
		2006林班越	2005, 2006	2,300	士別市	
		2183・2184林班	2183, 2184	2,000	士別市	
		2058林班	2058	2,000	士別市	
		桜の沢	1113, 1114, 1115, 1116	3,500	名寄市	
		大宮沢	66, 69	8,100	下川町	
		89林班	89, 90, 92	1,200	下川町	
		一の沢越	6, 7, 10	1,600	下川町	
		79・82林班	82	2,000	下川町	
		91・92林班	91, 92	2,100	下川町	
		313林班	313, 314	1,400	下川町	
		長坂沢	244	1,000	下川町	
		跡志内	238, 239	1,000	下川町	
		源四郎沢	252	600	下川町	
		223林班	217, 218, 223	2,100	下川町	
		小滝の沢	209	1,100	下川町	
		然別左沢	217	1,200	下川町	
		1077林班	1076, 1077, 1078	1,000	中川町	
		計	29路線		62,500	

基幹・ その他別	開設・ 改良	路線名	箇所(林班)	延長(m)	箇所数 (改良)	備考
基幹	改良	大志別山	2376	100	1	士別市、溝渠工
		19線	2336	100	1	士別市、溝渠工
		内大部1の沢	2312	100	1	士別市、溝渠工
		岩尾内	2042	300	3	士別市、法面保護工
		奔天塩	2139	100	1	士別市、土留工
		御車山	21	100	1	下川町、法面保護工
		奥珊瑚	236	100	1	下川町、土留工
		智良志内	1005	100	1	中川町、溝渠工
		古市	1080	100	1	中川町、土留工
	計	9路線		1,100	11	
その他	改良	南丘	2354	100	1	和寒町、溝渠工
		南17線	2387	100	1	士別市、溝渠工
		オマナイ	1074	100	1	中川町、土留工
		峠下	1015	200	1	中川町、土留工
	計	4路線		500	4	
森林計画区合計						
開設	基幹	3路線		8,700	/	
	その他	29路線		62,500		
	計	32路線		71,200		
改良	基幹	9路線		1,100	11	
	その他	4路線		500	4	
	計	13路線		1,600	15	

注) 災害復旧等緊急を要する改良については、指定箇所以外においても実行ができるものとする。

4 治山に関する事項

位置	区分	工種	計画量	備考
1085林班	保全施設	溪間工	3箇所	
1084林班	保全施設	溪間工	2箇所	
2401林班	保全施設	溪間工	2箇所	
2015林班	保全施設	溪間工	1箇所	
2179林班	保全施設	溪間工	1箇所	
2181林班	保全施設	溪間工	1箇所	
1005林班	保安林の整備	本数調整伐	1 ha	
1144林班	保安林の整備	植栽工	1 ha	
森林計画区合計	保全施設	溪間工	10箇所	
		山腹工	-箇所	
		計	10箇所	
	保安林の整備	植栽工	1 ha	
		本数調整伐	1 ha	
		計	2 ha	

5 保護林及び緑の回廊の名称及び区域

(1) 保護林の名称及び区域

種類	名称	新設・既設	面積 (ha)	位置 (林小班)	特徴等
林木遺伝資源保存林	旭川アカエゾマツ10 林木遺伝資源保存林	既設	20.00	別表参照	下川地区のアカエゾマツの群生地を保存している。
	旭川ウダイカンバ・ミズナラ14 林木遺伝資源保存林	既設	15.86	別表参照	朝日地区のウダイカンバ、ミズナラの群生地を保存している。
	旭川エゾマツ9 林木遺伝資源保存林	既設	27.51	別表参照	下川地区のエゾマツの群生地を保存している。
	旭川オオバボダイジュ12 林木遺伝資源保存林	既設	9.81	別表参照	士別地区のオオバボダイジュの群生地を保存している。
	旭川オオバボダイジュ13 林木遺伝資源保存林	既設	4.41	別表参照	朝日地区のオオバボダイジュの群生地を保存している。
	旭川キハダ35 林木遺伝資源保存林	既設	18.46	別表参照	一の橋地区のキハダの群生地を保存している。
	旭川トドマツ8 林木遺伝資源保存林	既設	7.90	別表参照	風連地区のトドマツの群生地を保存している。
	旭川ハルニレ11 林木遺伝資源保存林	既設	9.91	別表参照	下川地区のハルニレの群生地を保存している。
	森林計画区計	8箇所	113.86		
森林計画区合計	8箇所	113.86			

(2) 緑の回廊の名称及び区域

該当無し

6 レクリエーションの森の名称及び区域

種類	名 称	新設・既設	面積 (ha)	位置 (林小班)	選 定 理 由	施業方法	既存施設の概要	施設整備	備 考
自然休養林	ピヤシリ 自然休養林	既設	1,591.19	別表 参照	森林を主体として、景観に優れている地域であり、自然休養の場として利用されている。良質なパウダースノーで有名なピヤシリスキー場と充実する付随施設、自然観察施設や遊歩道等が整備され、ピヤシリ山頂からは、利尻山、オホーツク海、大雪連峰等が望めるパノラマ等四季を通じての景観を楽しむことができる。	複天	スキー場外 (名寄市)	車道延長 6422m 外	「*」は、保健機能森林に該当する森林
			90.81						
			81.81						
			264.74						
			509.18						
			644.65						
	森林計画区計	1箇所	1,591.19						
森林スポーツ林	笹の平 森林 スポーツ林	既設	279.08	別表 参照	チシマザサ(根曲竹)群生地。春には「たけのこ」狩りを楽しむ多くの人々の利用に供される。 また、一面にチシマザサが密生する高原を思わせる風景や遠くは大雪山連峰や天塩岳を眺望することができる。	複天	車道外 (国)	車道延長 3500m 外	保健機能森林に該当する森林
	森林計画区計	1箇所	279.08						
風景林	アベシナイ 風景林	既設	2.04	別表 参照	天塩川付近の国道40号線に隣接する森林で、清流との森林景観の調和を楽しむことができる。 また、地域住民により花見やハイキング等に利用されている。	天	園地外 (中川町)	車道延長 300m	

種類	名 称	新設・既設	面積 (h a)	位置 (林小班)	選 定 理 由	施業方法	既存施設の概要	施設整備	備 考
風景林	ナイオロップの滝風景林	既設	125.58	別表参照	ピヤシリ山系の裾野に位置する森林で、その中心にあるナイオロップ（アイヌ語で沢の落口という意味）の滝は、何段にもなって落差20mほどあり、涼しげな容貌を醸し出し、周囲を取り巻く針広混交林との調和を楽しむことができる。	複天	歩道外（名寄市）		
	ウエンシリ岳風景林	既設	222.70	別表参照	ウエンシリ岳（1142m）を主峰として、南北に1000m級の山々が連なる一帯の森林で、山頂付近にハイマツの群生地、風雪に曝されたダケカンバの奇形木、さらにはエゾツツジ、コケモモ等の群落と高山景観を楽しむことができる。	天	歩道（国及び下川町）	歩道延長4912m外	
	南丘森林公園風景林	既設	39.83	別表参照	南丘貯水池に隣接するミズナラ、シナノキ等の天然の広葉樹林で、池水面に映える春の新緑、秋の紅葉等四季を通じて池と森林の調和を楽しむことができる。 また、隣接する地域にはキャンプ場等が整備され、多くの人々に利用される。	天	園地外（和寒町）		
	岩尾内湖風景林	既設	1,041.87	別表参照	岩尾内湖（人造湖）に隣接する針広混交林で、湖面に映える春の新緑、秋の紅葉等四季を通じて湖と森林の調和を楽しむことができる。 また、隣接する地域にはキャンプ場、ボート乗り場、展望広場等の施設が整備され、多くの人々に利用されている。	複天	展望台外（士別市）		

種類	名 称	新設・ 既設	面 積 (h a)	位 置 (林小班)	選 定 理 由	施業 方法	既存施設 の概要	施設 整備	備 考
風景林	天塩岳 風景林	既設	796.25	別表 参照	天塩岳（1558m） の裾野に位置する針 広混交林で、頂上か らの上川原野、大雪 山連峰の壮大な景観 と併せ、うっそうと する森林との調和を 楽しむことができる。 また、頂上付近で は、高山植物群落や ハイマツ帯等の山岳 風景を観察できる。	複 天	園地外 （士別市）	車道 延長 1200m 外	
	ポンテシオ 風景林	既設	21.56	別表 参照	ポンテシオダムに 隣接する針広混交林 で、春の新緑、秋の 紅葉等四季を通じて 湖と森林の調和を楽 しむことができる。 また、数十種類に 及ぶ野鳥の観察をす ることができる。	天	園地外 （士別市）		
森林計画区計		7箇所	2,249.83						
森林計画区合計		9箇所	4,120.10						

注1) 備考欄の「保健機能森林に該当する森林」とは、「森林の保健機能の増進に関する特別措置法」に基づき、施設の整備を森林の施業と一体的かつ計画的に推進する森林のことを指す。

注2) 施業方法 単＝育成単層林へ導くための施業 複＝育成複層林へ導くための施業
天＝天然生林へ導くための施業

7 公益的機能維持増進協定の名称及び区域

該当なし

8 その他必要な事項
 (1) 施業指標林、試験地等

種類	名 称	設定年	面 積 (h a)	位 置 (林小班)	備 考	
遺伝子保存林	トドマツ下川 遺伝子保存林	昭和50年	3.60	27 ほ	材木の優良な遺伝子群を確保し、これを保存し、遺伝子補給源として活用することを目的に設定している。	
	クロエゾマツ下川A 遺伝子保存林	昭和48年	5.55	28 り		
	クロエゾマツ下川B 遺伝子保存林	昭和48年	3.97	28 る		
	アカエゾマツ中川A 遺伝子保存林	昭和51年	7.71	1006 ろ		
	アカエゾマツ中川B 遺伝子保存林	昭和51年	4.12	1072 ろ		
	トドマツ美深 遺伝子保存林	昭和47年	6.47	1120 い		
	ドロノキ朝日 遺伝子保存林	平成 2年	1.92	2031 に		
	アカエゾマツ和寒A 遺伝子保存林	昭和49年	5.00	2369 か		
	アカエゾマツ和寒B 遺伝子保存林	昭和49年	4.60	2369 た		
	森 林 計 画 区 計	9箇所	42.94			
	検定林	北旭9号地域差検定林	昭和63年	5.64		1112 め
森 林 計 画 区 計		1箇所	5.64			
施業指標林	森林施業観察林	昭和46年	1.73	1113 た	健全な森林を維持・造成しつつ、地域の人々の研修の場として提供している。	
			2.60	1113 ら		
			0.12	1113 ま		
		計	4.45			
	高寒風衝地における 天然更新補助作業 施業指標林	昭和46年	3.00	2198 ろ	公益的機能発揮のための森林造成技術の指標とする。	
	沢沿い湿地帯改良 施業指標林	昭和45年	2.71	2336 そ	天然広葉樹林施業体系確立のための指標とする。	
			1.00	2336 つ		
計		1.13	2336 ね			
森 林 計 画 区 計	3箇所	12.29				
試験地	カラマツ人工林 収穫試験地	昭和43年	1.10	1136 い	収穫試験施行要綱に基づき設定する。	
	広葉樹施業試験地	昭和31年	9.00	2170 い	広葉樹林分の施業方法確立のため、間伐により林分の健全化を図りながら、林分の成長量や枯損量等を把握する。	
			0.50	2170 ろ		
			0.50	2170 ま		
	計		10.00			
	アカエゾマツ人工林 収穫試験地	平成11年	1.10	2339 よ	収穫試験施行要綱に基づき設定する。	
	カラマツ人工林 収穫試験地	昭和42年	1.21	2343 い		
朝日天然林施業 試験地	平成19年	27.33	2069 と	国有林野事業技術開発実施要綱に基づいた技術開発試験地である。		
森 林 計 画 区 計	5箇所	40.74				

種類	名 称	設定年	面積 (h a)	位 置 (林小班)	備 考
モデル林	水土保全モデル林	平成12年	10.40	2336 ろ	水土保全林の森林施業モデルとして整備している。
	森林計画区計	1箇所	10.40		
母樹林	林業種苗法に基づく育種又は普通母樹・母樹林	平成20年	2.97	2194 イ	配布の目的のための優良な種穂の採取に適する森林等育成し、又は改良するため特に優良な種穂の確保を図ることとしている。
		平成20年	18.24	2352 く	
	森林計画区計	2箇所	21.21		
研究機関 試験地	ミズナラ 優良種苗実証試験地	平成 8年	0.62	2401 ろ2	母樹別、産地別系統の遺伝的特性を解明し、地域に適した優良系統を選出する。
	士別天然林成長量 固定試験地	平成14年	3.26	2397 い	天然林における択伐の影響を評価し、施業法の改善・開発を行う。
	森林計画区計	2箇所	3.88		
森林計画区合計		23箇所	137.10		

注) 備考欄の「収穫試験地施行要綱」とは、現行あるいは将来予想される施業法によって施業した場合の成長量、及び収穫量その他の統計資料を収集するとともに林分構造の推移を解明する目的をもって設定した固定試験地である。

(2) フィールドの提供

対象地 (林小班)	設定の目的	備 考
1092へ、チ	遊々の森として (南小の森)	協定面積1.05ha 名寄市立名寄南小学校
森林計画区合計		面積：1.05ha

(3) 森林共同施業団地

名 称	対 象 地 (林 小 班)		面 積 (h a)	連携した施業 の内容	備 考
二の橋・溪和・班 溪地区森林整備推 進協定	民	34、35、39～48、58	998	<ul style="list-style-type: none"> ・航空レーザー計測による共同施業団地内の森林資源量解析とGISシステム化に取組中 ・欧州普及型高性能林業機械の導入を検討中 ・下川町や地元木工場等と間伐の立木システム販売契約し、木質バイオマス化を推進 	協定相手： 下川町
	国	78～83、88～90、307～315	3,747		
珊瑚・一の橋地区 森林整備推進協定	民	30～32、82～95	1,785	<ul style="list-style-type: none"> ・航空レーザー計測による共同施業団地内の森林資源量解析とGISシステム化に取組中 ・欧州普及型高性能林業機械の導入を検討中 	協定相手： 下川町
	国	65～73、208～223	4,729		
森林計画区合計	民		2,783	2箇所	
	国		8,476		
	計		11,259		